

町民と役場をつなぐ「まちづくり工房」プロジェクト

1 目的

町民と役場の協働によるまちづくりを継続し、質の高い行政サービスや、町民による自発的な活動が生まれる活気ある池田町を目指すことで、人口減少に歯止めをかける。

2 進捗状況

○町民と役場をつなぎ、まちづくり活動団体をサポートする人材（コーディネーター）を確保。

⇒平成 28 年 6 月「合同会社マッチメイキング」の奥田代表に本業務を委託。奥田氏は池田町出身。現在 39 歳。飲食店の出店立ち上げ、大学の学食運営についてのコンサルタントなど、飲食関係の経験が豊富。池田町に貢献したいという想いのもと、昨年度から各プロジェクトの実施に参加。

⇒コーディネーターの役割として考えられるものは以下のとおり。

- ・まちづくりに関心のある人材・団体の発掘、活動支援
- ・池野駅駅舎をコミュニティスペースとして利用促進、管理運営
- ・移住を検討している方を対象とした体験ツアーの実施 など

○コーディネーターやまちづくり活動団体の拠点として、池野駅駅舎を改修。
⇒7 月下旬、8 月上旬に池野駅駅舎づくりのワークショップを開催。年内に改修完成予定。現時点の改修案は、別添の図面を参照。

○移住促進のために、空き家情報をまとめた HP の作成、調査研究や PR パンフレット等の作成を行う。

3 費用（合計 31,686 千円）

トータルコーディネーターの活動費 5,000 千円
池野駅舎の改修 16,500 千円
空き家台帳の整備、HP の作成 7,500 千円
移住定住についてのニーズ調査・研究 2,000 千円
移住 PR パンフレット等の作成 500 千円
移住プロモーション活動 186 千円

4 目標値 (KPI)

トータルコーディネーターが支援したまちづくり活動団体・イベント数
平成 30 年 3 月：3 件、平成 32 年 3 月：5 件

<論点>

- ・池野駅駅舎がどのような空間、使われ方をされると良いか。
- ・コーディネーターの役割、心構えとして重要なことは何か。